

市民ボランティアとともに 札幌市円山公園での外来植物除去活動

一般社団法人北海道自然保護協会

この活動の目指すこと

- ✓ 天然記念物円山原始林を外来植物から守るために、原始林に接する円山公園から外来種を除去する
- ✓ 市民の憩いの場である円山公園や円山（円山原始林）の自然を知っていただく
- ✓ このような活動に気軽に参加していただくことで、一人でも多くの方々に「外来種問題」や「生物多様性」が身近な問題であることを知っていただき、さらなる行動のキッカケになれば・・・



生物多様性とは？

生物多様性とは、すべての生物の間の変異性をいう、遺伝子レベルの変異（種内の多様性）、遺伝子レベルの変異（種間の多様性）、および生態系レベルの変異（生態系の多様性）がある（リオ地球サミット、1992）



伊藤若冲筆 池辺群虫図
〔「動植採絵」のうち〕

生物多様性を阻害する要因

- ✓ 地球事態の活動によるもの（大規模な火山活動、氷期の襲来など）
- ✓ 人間活動によるもの

人間が関与する生物多様性を阻害する要因

- ✓ 人間の活動による種の減少・絶滅、生態系の破壊・分断
- ✓ 自然に対する人間の働きかけの減少（里山が減少）
- ✓ 移入種（外来種）による在来種の減少
- ✓ 化学物質による影響

外来種とは（１）：在来種との違い

在来種（自生種・野生種）

地域にもともと生息している固有の生物

人間活動の影響の少ない地域では、主に在来種による安定した生物群集や生態系が維持されている

外来種（移入種・帰化種）

人為的に本来の分布地から離れた地域へ持ち込まれた生物

✓ 意図的な持ち込み

ペットや家畜、緑化事業や園芸、害虫の天敵などの目的で野外に放されたり、植栽される場合

✓ 非意図的な持ち込み

人や動物に付着したり、穀物や牧草などに混入して、他の地域に導入される場合、管理・飼育されているものが逃げ出す場合もある

地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を損なうおそれのあるものを、特に**侵略的外来種**という

2015年
生態系被害防止外来種リスト（環境省）

外来種とは（2）：外来種の問題点

生態系・生物多様性への影響

- ✓在来種を捕食する（アライグマ）、生態系が大きく変化する。
- ✓同じような食物や生息環境をもっている在来種と競合し、駆逐する（アメリカザリガニ）
- ✓近縁の在来種との間で交配が起こり、雑種が生まれる（遺伝的攪乱）。交雑により種としての純血と病気などに対する抗体を失われるおそれがある（タイワンザル）

人体への影響

- ✓人や野生生物に被害を及ぼす病原菌や寄生虫などを持ち込む（蚊、ネズミ類、ヒアリ、セアカゴケグモ）

農林業・漁業への影響

- ✓畑を荒らしたり、漁業の対象となる生物を捕食したり、危害を加えたりして、農林業や漁業への悪影響を及ぼす。



フランスギク

指定外来種（北海道, 2018年指定）
トノサマガエル・アメリカザリガニ・
フランスギク・イワミツバなど動物
10種、植物2種

円山原始林(円山) と円山公園

1871 (明治 4)年	札幌神社 (境内に植樹)
1880 (明治13)年	円山養樹園 (開拓使が設置)
1908 (明治41)年	公園として整備
1921 (大正10)年	円山原始林 天然記念物に指定

円山原始林 (原始林ではなく天然林が正しい) はカツラ・ミズナラ・シナノキなど温帯北部の代表的な森が大都市に接しているのは貴重ということで、1921(大正10)年に国の天然記念物に指定された。



円山登山口 (太子堂) 口

円山公園は、円山原始林に接し、原始林の緩衝地帯となっている。外来植物の侵入により在来種が減少している。円山原始林への外来種の侵入を防ぐために円山公園内の外来植物を除去する必要がある。



円山公園入り口

市民ボランティアとともに行う 円山公園の外来植物除去活動

2015年秋に試験的に行い、その後毎年5月中旬～11月上旬に毎月2回実施し、今年（2023年）は8回目を迎える。

ゴボウやイワミツバなどが除去対象。

今年（2023年）は5月19日がスタート
参加ご希望の方は北海道自然保護協会にご連絡ください

電話：011-876-8546

電子メール：info@nc-hokkaido.or.jp

2015年
9/17
(木)



共催：公益財団法人札幌市公園緑化協会
円山公園

一般社団法人北海道自然保護協会

日時：9月17日(木)

午前10時～12時

集合場所：円山公園管理事務所前

地下鉄東西線「円山公園駅」下車
2番出口 徒歩5分

ボ ラ ン テ ィ ア 募 集

都市で 自然保護

天然記念物の円山原始林に接する円山公園内の円山川の岸辺にて、外来種のゴボウの抜き取りを行います。円山への今以上のゴボウの侵入を防止し、本来自生する植物の多様性をより豊かにしたいと考えています。

●ボランティア応募方法

申込方法：北海道自然保護協会へ、
電話かE-mailで。
道具を用意するので早めにお申し込みください。

募集人数：30人

参加費：100円（保険料）

持ち物：ゴム手袋、カップ

（少雨程度であれば実施）

移植ごて（園芸用スコップ、あればお持ちください。）

服装：泥汚れが予想されます。
汚れてかまわない服装で、
お願いします。

申し込み・問合せ先：一般社団法人 北海道自然保護協会 ☎：011-251-5465

〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル5（6階） E-mail：info@nc-hokkaido.or.jp

ゴボウ (牛蒡、*Arctium lappa*)

キク科、2年草

ユーラシアに分布し、日本には中国から渡来したと言われているが、その年代は不明。栽培されていたものが逸散し、野生化した。ゴボウを食べるのは日本と朝鮮半島だけ。



イワミツバ (*Aegopodium podagraria* L.)

セリ科、多年草、耐寒性宿根草

ユーラシアに分布し、戦前食用に栽培されていたものが逸散した。地下茎だけでなく、種子散布による繁殖も旺盛で、除去は難しい。根から毒素を出し、他の植物を駆逐するという。



除去作業

除去したゴボウ・イワミツバは円山パークセンターで焼却処分する。



ゴボウ除去作業



イワミツバ除去作業

ゴボウの除去：before and after

円山公園内のゴボウはほとんどなくなった



2016年7月14日 作業後



2016年7月14日 作業前

2017年5月29日



イワミツバの除去：before and after



2016年9月22日 作業前

公園内のイワミツバは目立たなくなりましたが、イワミツバは繁殖力が強く、まだまだ除去が必要。



2016年9月22日 作業後

2017年5月29日



宮の森中学校の道徳授業への協力（2017年）

2年生120名対象

7月4日 事前授業「外来生物による環境問題」

7月10日 現地活動（円山総合グラウンド・野球場
周辺）

協会から5名、駆除ボランティアから8名
が除去指導した
ゴボウ約400kg、イワミツバ約75kg

同校科学部は北海道神宮境内で継続を希望



札幌ライオンズクラブの除去活動への協力

2021年10月9日

ライオンズクラブから7名
協会から4名



2023年度 ボランティア募集

今年（2023年）は5月19日(金)が初回で、
6月～11月の毎月2回（第1木曜日と第3金曜日）
に行います。

活動場所：円山公園とユースの森

活動時間：10時～11時30分

参加ご希望の方は北海道自然保護協会に
ご連絡ください

電話：011-876-8546

電子メール：info@nc-hokkaido.or.jp

2015年
9/17
(木)



共催：公益財団法人札幌市公園緑化協会
円山公園
一般社団法人北海道自然保護協会
日時：9月17日(木)
午前10時～12時
集合場所：円山公園管理事務所前
地下鉄東西線「円山公園駅」下車
2番出口 徒歩5分

ボ ラ ン テ ィ ア 募 集

都市で 自然保護

天然記念物の円山原始林に接する円山公園内の円山川の岸辺にて、外来種のコボウの抜き取りを行います。円山への今以上のコボウの侵入を防止し、本来自生する植物の多様性をより豊かにしたいと考えています。

●ボランティア応募方法

- 申込方法：北海道自然保護協会へ、
電話かE-mailで。
道具を用意するので早めにお申し込みください。
- 募集人数：30人
- 参加費：100円（保険料）
- 持ち物：ゴム手袋、カッパ
（少雨程度であれば実施）
移植ごて（園芸用スコップ、
あればお持ちください。）
- 服装：泥汚れが予想されます。
汚れてかまわない服装で、
お願いします。